

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けしてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分に説明ください。

# 1

## 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください。)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けしてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	必ず実行していただく「強制」内容です。
	分解しないでください。

## ⚠ 注意

	湯水を逆配管しないでください。 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。	
	給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。 85℃より高温で使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	製品に強い力や衝撃を与えないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
	修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。 故障や水漏れの原因になります。	
	分解禁止	

## ⚠ 注意

	必ず実行 フルターの掃除をする際は、いきなりフルターを緩めずに、止水栓又は元栓を開めてから行ってください。 湯水が噴き出して、やけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	必ず実行 目盛り通りの湯が出るよう、必ず温度調節を行ってください。 使用条件によっては目盛り通りの湯が出ず、やけどをすることがあります。	
	必ず調圧弁を取り付けてください。 調圧弁を使用しなかった場合、シャワーホース内の水圧が高くなり、シャワーホースが破損したり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	禁止 寒冷地用 水抜コックは水抜き以外の目的で開けないでください。 水抜コックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	
	必ず実行 凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「9」寒冷地用の水抜き方法を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。 部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。	



## 仕様

給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa(流動圧) (クリックシャワーの場合は0.07MPa)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用可能水質	使用最高温度	85℃以下
	使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	0~40℃
	寒冷地用	-20~40℃
	用途	(ただし、0℃以下は水を抜いた状態) パブリック及び一般住宅浴室用



## 取付け前に

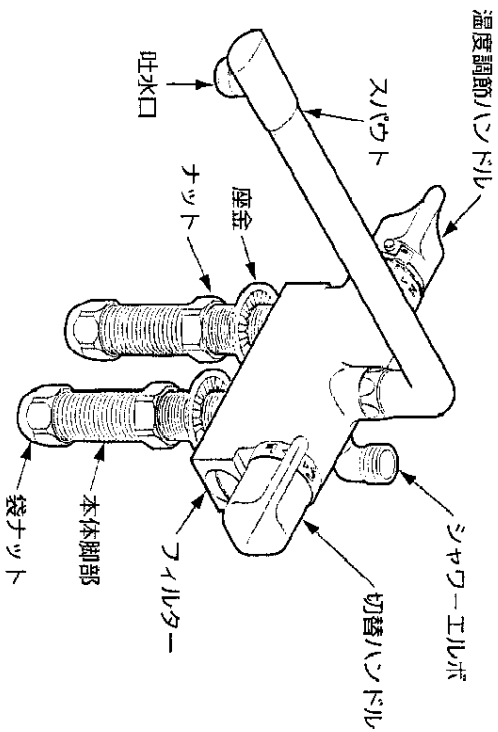
- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、**点検口**と**止水栓**を必ず設けてください。
- 通水検査をいたしますので水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。



## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

水栓本体部



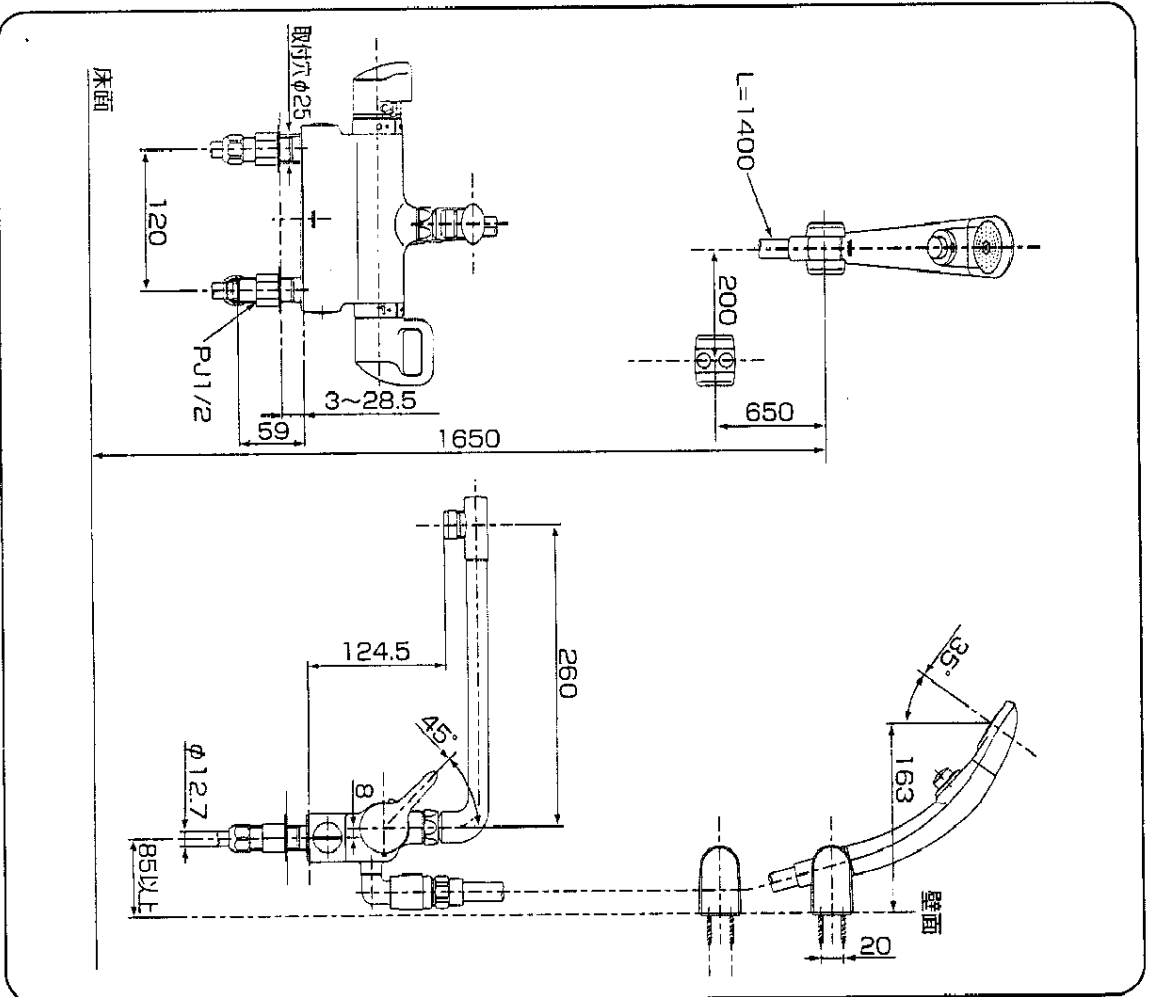
<p>シャワー部</p>	<p>その他</p>
--------------	------------

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

# 5

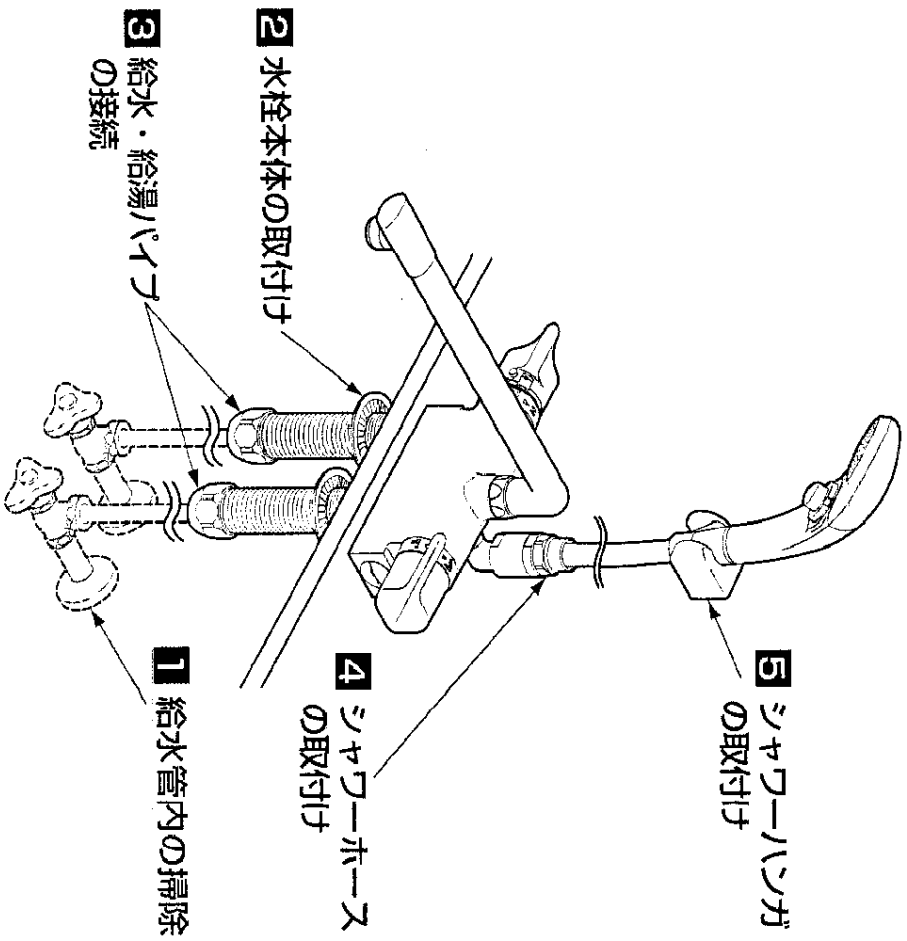
## 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



# 6-1

## 施工手順



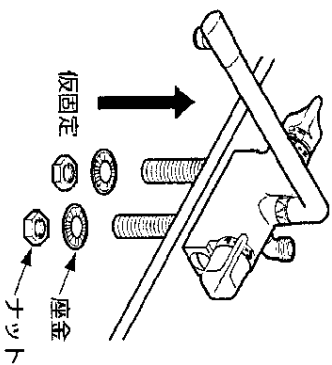
**1** 給水管内の掃除  
器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

**重要**



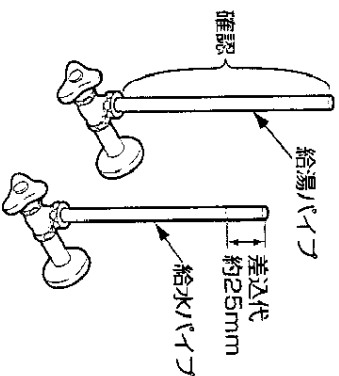
## 2 水栓本体の取付け

①取付穴周囲の汚れを取り、本体が正面を向くように仮固定する。



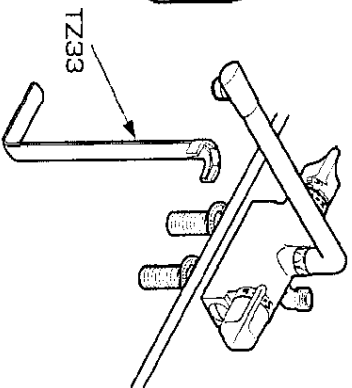
②給水・給湯パイプの必要な長さを確認し、切断する。

**注意**  
パイプの差込代は約25mm確保してください。



③本体を本固定する。

**注意**  
固定には別売の締付専用工具 (TZ33) を利用して確実に締め付けてください。



## 3 給水・給湯パイプの接続

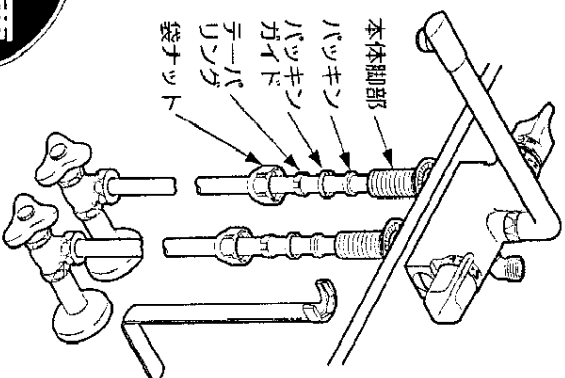
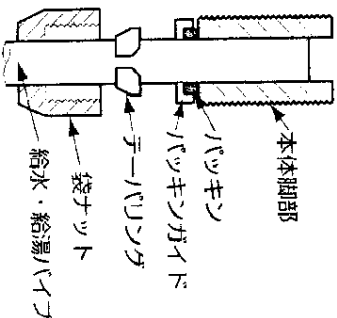
①給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンを入れ、本体脚部に差し込む。

②パッキンをパッキンガイドに入れ、本体脚部に押し付け、手締めで袋ナットを締め付ける。

③さらに工具で1回転以上締め付ける。

**注意**  
抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

**重要**  
袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番で、向きを間違えないようにして接続してください。  
水漏れのおそれがあります。





# 施工手順



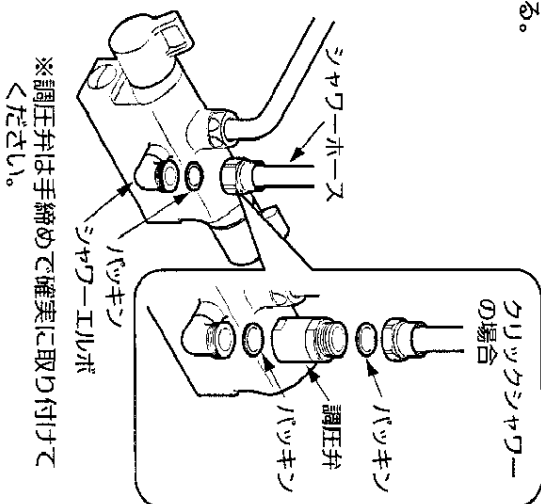
# 施工後の調節

## 4 シャワーホースの取付け

シャワーホースを図のように取り付ける。

### 注意

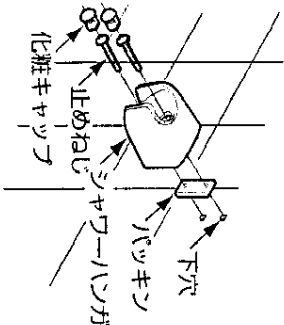
- パッキンが入っていることを確認してください。
- クリックシャワーの場合必ず調圧井を取り付けてください。



※調圧井は手締めで確実に取り付けてください。

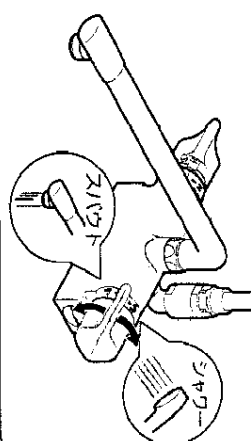
## 5 シャワーハンガの取付け

- (1) 下穴を開ける。  
※取付位置は 「完成図」を参照
- (2) パッキンをシャワーハンガの裏面に貼る。
- (3) 止めねじでシャワーハンガを固定する。
- (4) 化粧キャップをねじ穴に確実に押し込む。



## 1 水出し確認

取付けが完了した後、配管部の元栓を開け、スバウト及びシャワーから水が出るか確認してください。



## 2 フイルターの掃除

器具取付け後は必ずフイルターを掃除してください。フイルターがつまりると流量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもとまじき掃除していただくように説明願います。



必ず実行

フイルターの掃除をする際は、いきなりフイルターを緩めずに、止水栓又は元栓を開めてから行ってください。  
湯水が噴き出てやけどや家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

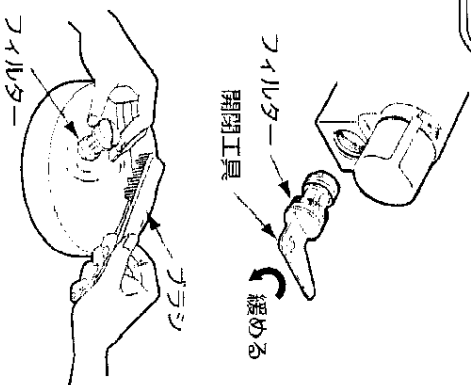
1. 止水栓又は元栓を閉める。

2. 開閉工具を溝に差し込み、フイルターを緩めて取り出す。

※フイルターは、湯側・水側の2ヶ所あります。

3. フイルターにつまったごみをブラシなどで取り除く。

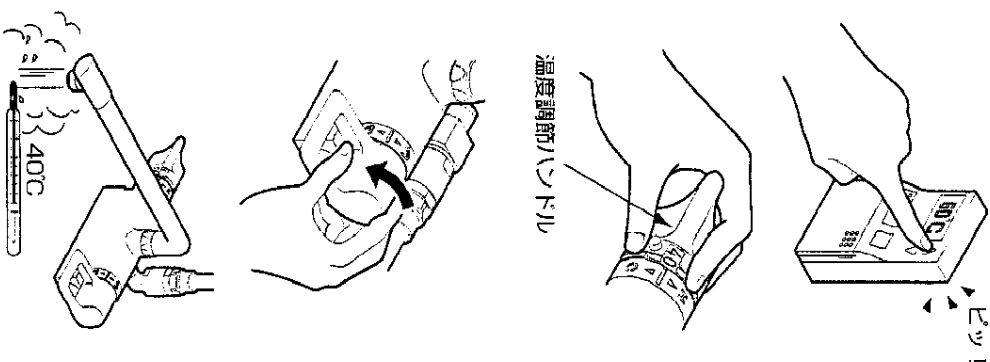
4. フイルターを取り付け、元栓又は止水栓を開ける。



### 3. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定してありますが使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示通りになっているか以下の要領で確かめてください。

1. 給湯機の給湯温度を設定する。  
給湯機の給湯温度は、吐水温度より10℃以上高く設定してください。
2. 温度調節ハンドルの目盛り“40”をラインに合わせる。
3. 切替ハンドルを下いっぱい回す。  
スバウトから水が出ます。
4. 吐水温度を確認する。  
吐水温度が適温(およそ40℃)であればそのままご利用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、「4. 温度調節ハンドル」の設定」を参照の上、温度調節ハンドルを設定し直してください。



### 4. 温度調節ハンドルの設定

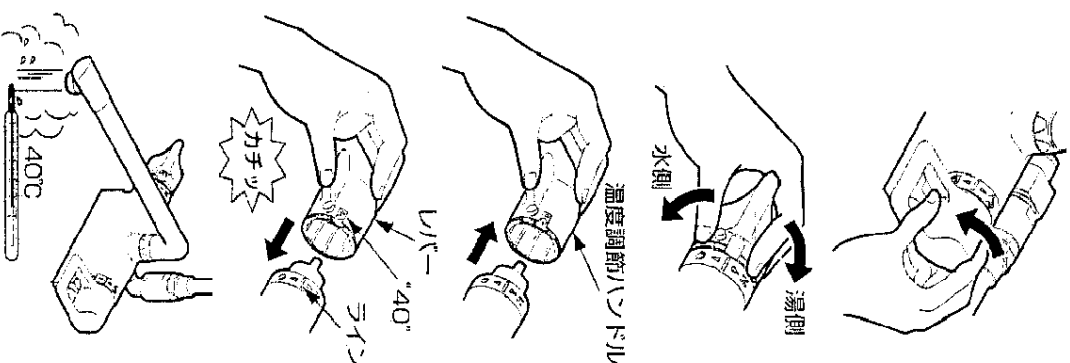
※吐水温度が表示通りになっていないときに行ってください。

1. 切替ハンドルを下いっぱい回す。  
スバウトから水が出ます。
2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく40℃の湯が出る位置まで回す。  
温度調節ハンドルは目盛り“40”付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。
3. 温度調節ハンドルを外す。  
温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜き取ってください。
4. 温度調節ハンドルを取り付ける。  
目盛り“40”の文字とラインを合わせて「カチツ」と音がするまで押し込んでください。
5. 固定後に40℃の湯が出ているか確認する。



**豆知識**

ハンドルははめ込み式のため、強く引くと抜けます。抜けない場合は、リバーを傷かつかないようになぞってください。



取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

**ガッツキの確認**

水栓本体のガッツキがないか確認してください。

ナットは十分締め付けていますか？

- 1 水栓本体の取付け
- 「け」参照

**水漏れの確認**

袋ナットの締めはなさいですか？

- 1 給水・給湯パイプの接続
- 参照

温度調節ハンドル

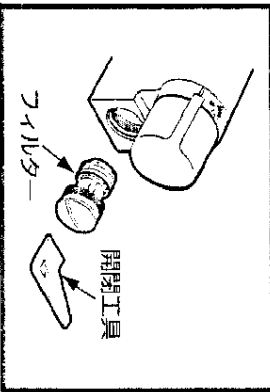
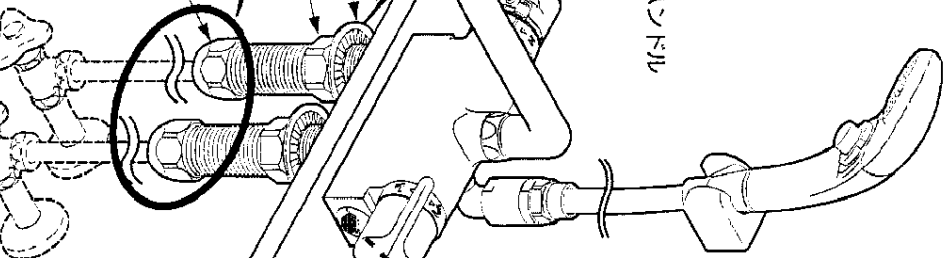
切替ハンドル

袋ナット

座金

ナット

吐水口



**流量及び吐水温度の確認**

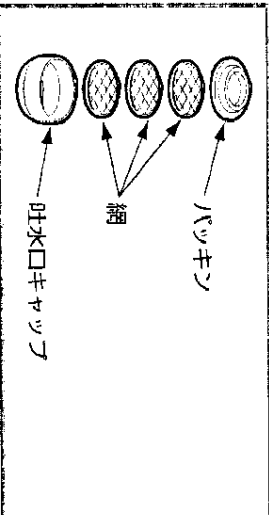
流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

フィルターのごみつまりはないですか？

- 1 フィルターの掃除
- 参照

吐水口のごみつまりはないですか？

- 2 吐水口の掃除をする。

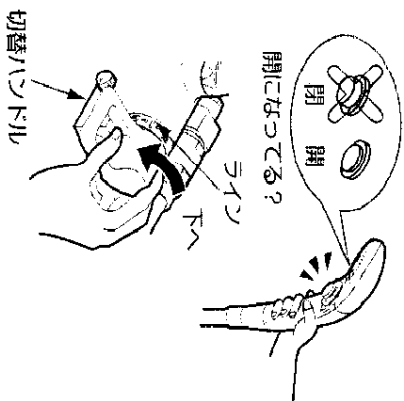




# 寒冷地用の水抜き方法

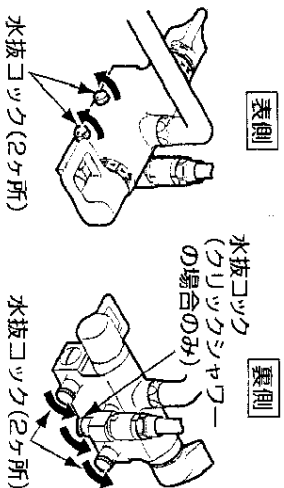
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいってください。  
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を開め、水抜栓を開ける。
2. (クリックシャワーの場合) シャワーから水を出し、シャワー開閉ボタンが“開”の状態になっていることを確認する。

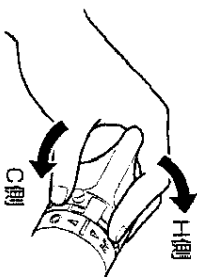


3. 切替ハンドルを下いっぱい回す。

4. 水抜コックをすべて開ける。

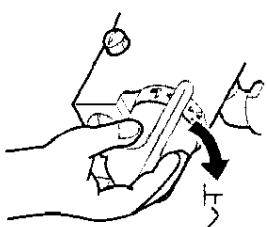


5. 温度調節ハンドルを上(H側)いっぱい回して水を抜く。



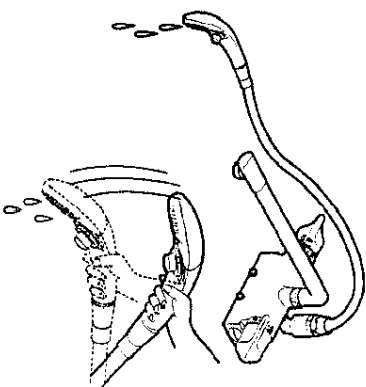
6. スパウトから水が出なくなったら、温度調節ハンドルを下(C側)いっぱい回して水を抜く。

7. スパウトから水が出なくなったら、切替ハンドルを上いっぱい回す。

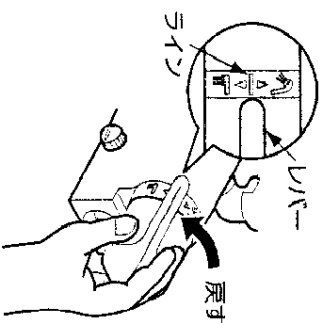


8. シャワーヘッドを床近くまで下げ、ホース内の水を抜く。

9. シャワーヘッドを振って中の水を抜く。



10. 水抜き完了後は必ず水抜コックを閉め、切替ハンドルを水栓本体のライオンの位置(水が出ない状態)に戻す。



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。